

青少年の目線から意見を発表

鷹島町少年の主張大会

第16回鷹島町少年の主張大会(鷹島町青少年健全育成会主催)が9月25日、鷹島開発総合センターで開催されました。

大会では、町内の小学生3人と中学生3人が発表。会場を訪れた児童や生徒、保護者や地域住民などは、子どもたちが日頃抱いている思いや意見を熱心に聞いていました。

審査の結果、小学生の部では、『家族と夢と』と題して発表した近藤美月さん(鷹島小・6年)が、中学生の部では、『「家族」から考える』と題して発表した近藤菜々さん(鷹島中・3年)が最優秀賞に選ばれました。



14人のアンサンブル

ながさき音楽祭 2012

Project Brass Chamber Series Vol.2 (ながさき音楽祭 2012) が9月29日、文化会館で開催されました。

Project Brass は、従来の慣例にとらわれない新しい吹奏楽を求めて2005年に発足した吹奏楽団。メンバーは幅広いジャンルにおいて全国で活躍中のプロの演奏家や新進気鋭の音大生などの若い世代で構成され、2006年より毎年、長崎や佐賀で公演を行っています。

この日は、弦楽器を加えた特殊な室内楽編成で、管弦楽や吹奏楽の曲からテレビでなじみのある曲まで、幅広い楽曲が演奏され、楽しい司会進行とともに、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



吹奏楽を通して地域文化を向上!

松浦ウインドオーケストラ

松浦ウインドオーケストラ(浦順平団長)の創立10周年記念第5回定期演奏会が9月23日、文化会館で開催されました。

今回は、通常の定期演奏会よりさらに内容を充実させた3部構成。第1部では、吹奏楽のために作編曲された曲の演奏のほか、楽団の創立10周年を記念した委嘱作品を初演、第2部では、企画ステージとして志佐中学校と田平中学校の吹奏楽部がゲスト出演し、第3部では観客の皆さんになじみのある、スーパーマリオブラザーズの曲の演奏やイントロクイズなどがありました。

会場に集まった人たちは、吹奏楽の迫力ある演奏を楽しみました。



元気いっぱい土俵入り

天満神社奉納子供相撲大会

天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会(天満神社主催)が9月23日、調川町にある同神社の境内で行われました。

この行事は、願成就・豊作のお礼と子どもたちの健全育成を願い、毎年開催されています。

今年は、調川町内の幼児や児童など、約40人が参加。子どもたちの熱の入った取組に、観客から大きな声援が送られていました。



長崎がんばらんば国体のPRを応援

松浦ライオンズクラブ

松浦ライオンズクラブ(黒川廣治会長)が10月5日、長崎がんばらんば国体の協賛品として、国体名を付した15センチ定規500本を第69回国民体育大会松浦市実行委員会(友広郁洋会長)へ寄贈しました。

黒川会長は、「45年ぶりに国体が本県で行われ、本市ではなぎなた競技が開催されます。開催に向けて、市民や関係団体が大いに参加し、盛り上げていくことが必要です。広報活動にぜひ活用してください」と述べました。



夢をありがとう！小久保選手

鷹島石工業協同組合

福岡ソフトバンクホークスの小久保選手が今シーズン限りで引退することにもない、鷹島石工業協同組合は、同選手の引退記念手形モニュメントを作製しました。

同組合が作製する阿翁石工製品は、県の伝統的工芸品に指定されており、鷹島モンゴル村に設置してある同球団関連の記念モニュメントも制作しています。その技術を高く評価した球団が今回の制作を依頼したもので、阿翁石を使用したモニュメントは、ヤフードーム内にある王貞治ベースボールミュージアムにおいて、来年1月6日まで特別展示されます。



Dear Mr.Bill Molloy

ビル・モロイ杯 Englishスピーチ・コンテスト

第1回松浦・マックイ ビル・モロイ杯 Englishスピーチ・コンテストが9月30日、東部交流センターで開催されました。

この大会は、姉妹都市であるマックイ市との交流において、10回の本市訪問を果たし、友好関係の構築に尽力されたビル・モロイ氏の功績を称えつつ、将来を担う中高生の英語力向上を目的に今年から始まりました。

大会には、市内の中高生16人が参加し、日頃の英語学習の成果を競いました。最優秀者は次の通りです。

【暗唱部門】梶村伊織^{いおり}(御厨中、3年)

【オリジナル・スピーチ部門】川本七実^{ななみ}(松浦高校、3年)



ふるさとの川を守る

川西会ボランティア清掃

市内のボランティア団体の川西会(深見一憲会長)が10月5日、志佐川下流西岸にある遊歩道沿いの清掃作業を行いました。

同会は、県の河川里親制度の指定を受け、年に4回ほど志佐川周辺の清掃を行っています。

この日は、会員のうち16人が刈払機などを使用し、約3時間かけて清掃を行いました。また、遊歩道沿いには、会員たちが持ち寄った菜の花の種も播かれ、来年の春には黄色の花が志佐川を彩る予定です。

